

- 問1 物体が水面に浮かんで静止している状態において、その物体にはたらく「浮力」の大きさと、物体の「質量（重力）」の関係について正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
1. 浮力の大きさは、物体の質量の大きさと等しい
 2. 浮力の大きさは、物体の質量の大きさよりも小さい
 3. 浮力の大きさは、物体の質量の大きさよりも大きい
 4. 物体が水面に浮いているとき、重力ははたらかないため浮力のみがはたらく
- 問2 空気中で1.75Nのおもりを水中に完全に沈めたところ、ばねばかりの示す値が0.30Nになりました。このとき、おもりには作用している浮力の大きさは何Nですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 0.30N
 2. 1.45N
 3. 2.05N
 4. 1.75N
- 問3 平面鏡の前に立っている人が、鏡から遠ざかるように移動したとき、鏡に映る自分の像の様子について正しく述べたものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 鏡から離れると、反射した光が目には届かなくなるため、像の左右反対の性質が消えて実物と同じ向きに見える。
 2. 鏡から離れても、像の大きさは実物と同じままであり、像は鏡から遠ざかっていく。
 3. 鏡から離れても、像の位置は鏡の表面に固定されており、像の大きさだけが次第に拡大されていく。
 4. 鏡から離れると、光の反射角が小さくなるため、像の大きさは実物よりも小さくなっていく。
- 問4 水を入れた容器の底に置いたコインを、斜め上の位置から水面越しに観察したところ、コインが実際の位置よりも浮き上がって見えました。このように、光が水から空気へ進む際、異なる物質の境界で進む向きが変わる現象を何といいますか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 全反射
 2. 光の直進
 3. 屈折
 4. 乱反射
- 問5 光が水中から空気中へ進むとき、入射角がある一定以上の大きさになると、光が空気中へ屈折して進まずに、すべて境界線で跳ね返る現象を何といいますか。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
1. 乱反射
 2. 全反射
 3. 光の分散
 4. 全透過
- 問6 半円形レンズの曲面側から中心に向かって、光を垂直に当てた。光がレンズの平面側から空気中へ出るときの進み方について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 境界の面で法線から遠ざかる向きに屈折し、屈折角が入射角よりも大きくなる
 2. 境界の面で屈折することなく、そのまま直進して空気中へ進む
 3. 境界の面で法線から遠ざかる向きに屈折し、屈折角が入射角よりも小さくなる
 4. 境界の面で法線に近づく向きに屈折し、屈折角が入射角よりも小さくなる
- 問7 直線上に人物A、人物B、人物Cの順に並んでいます。人物Bと人物Cの間の距離は51mです。人物Aが手をたたいたとき、その音が人物Cに聞こえるまでに0.60秒かかりました。このときの音の速さを秒速340mとすると、人物Aと人物Bの間の距離は何mになりますか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 51m
 2. 204m
 3. 255m
 4. 153m
- 問8 宇宙空間のような重力がはたらかない無重力状態において、物体の「質量」と「重さ」がどのような状態になるか、正しく説明しているものを選びなさい。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 質量はなくなり、重さだけが存在する
 2. 質量は存在するが、重さはなくなる
 3. 質量も重さも、ともになくなる
 4. 質量も重さも、場所に関係なく地球上と同じ値で存在する
- 問9 水平でなめらかな机の上に置かれた1つのリングを、2つのばねばかりで左右から反対方向に引き、リングが静止している状態を作りました。このとき、一方のばねばかりが2.0N（ニュートン）を示していたとすると、もう一方のばねばかりが示す値と、2つの力の関係について正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. もう一方のばねばかりは1.0Nを示し、2つの力は一直線上にある。
 2. もう一方のばねばかりも2.0Nを示し、2つの力は一直線上にある。
 3. もう一方のばねばかりは4.0Nを示し、2つの力は一直線上にない。
 4. もう一方のばねばかりも2.0Nを示し、2つの力は一直線上にない。
- 問10 光学台の上に凸レンズ、光源、スクリーンを一直線に並べ、スクリーンにはっきりとした実像を映した状態から、凸レンズを固定したまま光源を凸レンズから遠ざける方向に動かしました。このとき、再びスクリーンにピントを合わせるための操作と、そのときの実像の大きさの変化の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. スクリーンをレンズから遠ざけ、像の大きさは小さくなる
 2. スクリーンをレンズに近づけ、像の大きさは大きくなる
 3. スクリーンをレンズから遠ざけ、像の大きさは大きくなる
 4. スクリーンをレンズに近づけ、像の大きさは小さくなる
- 問11 水平面に対して角度を持つ斜面上に、質量120gの金属球を置き、斜面に平行に張った糸をばねばかりにつないで静止させました。この装置を用いて、斜面の角度を大きくしていったときの現象の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 斜面の角度を変えても金属球にかかる重力の大きさは変わらないため、ばねののびは変化しない
 2. 斜面の角度を大きくすると、物体を支えるために必要な力が大きくなるため、ばねののびは大きくなる
 3. 斜面の角度を大きくすると、物体を支えるために必要な力が小さくなるため、ばねののびは小さくなる
 4. ばねののびは重力の大きさに反比例するため、角度を大きくするほど、ばねののびは急激に小さくなる
- 問12 水を入れた透明なコップの底に置いたコインを、斜め上の位置から観察したところ、実際の位置よりも浅い場所にあるように見えた。この理由を説明したものとして適切なものはどれか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 水が鏡のような役割を果たし、光が境界の面で反射したため
 2. 水と空気の境界で光が屈折し、光の進む道筋が変化したため
 3. コップの側面で光が全反射し、コインの像が映り込んだため
 4. コインの表面で光が乱反射し、あらゆる方向に進んだため
- 問13 ばねにおもりを吊り下げて、ばねにはたらく力の大きさとばねの長さの関係を調べる実験を行いました。このとき、「ばねののびは、ばねにはたらく力の大きさに比例する」という物理的な法則を何といいますか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. アルキメデスの原理
 2. フックの法則
 3. 作用・反作用の法則
 4. 慣性の法則